広報 ましこ

益子町キャラクターマーク
「マシコット」

平成 28年
2月号
第607号

- 益子町とダブリン市友好都市を締結
- 第２回はが路ふれあいマラソン開催！
- 確定申告お忘れなく

●二十歳のつどい
町民会館

益子町とダブリン市（アメリカ合衆国）友好都市を締結

▲友好都市宣言書を持つマイケル・キーナン市長と大塚町長

益子町はアメリカ合衆国オハイオ州のダブリン市と12月15日、現地で友好都市を締結しました。調印の式典には、益子町から大塚町長のほか、議会、観光協会、商工会、地域間交流協会、和太鼓グループ「天人疾風の会」の代表者など7名が出席。ダブリン市のマイケル・キーナン市長は、「きょう、長く意義深い友好関係を築く第一歩を踏み出す」と述べ、大塚町長は、「今後は、さまざまな分野、機関、世代で交流を深めていく」とあいさつしました。その後、ダブリン市の関係者など約100人が見守る中、大塚町長とキーナン市長が「文化、教育、芸術、経済、産業など幅広い分野で交流し、互いの理解と連携を深めることに努める」とする友好都市宣言に署名しました。益子町の友好都市締結は、2012年の英国セント・アイヴスに続き2都市目となります。

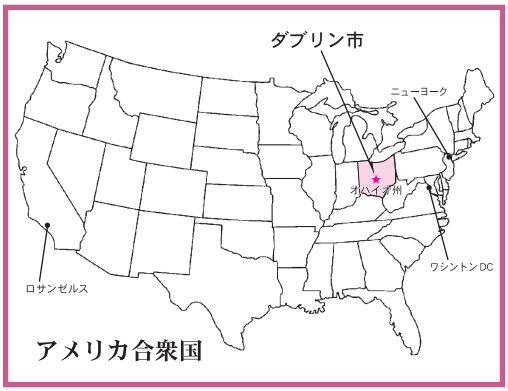
益子町とダブリン市には世界的和太鼓奏者の林英哲さんから指導を受けた和太鼓グループがあり、そのつながりを知ったキーナン市長が昨年3月に益子町を訪れ、友好都市締結を提案。6月にはダブリン市の中高生和太鼓グループが来町し、「天人疾風の会」と合同演奏会を開き、交流を深めていました。

今回の訪米で温かい歓迎を受けた益子町の代表団は、ダブリン市内の学校や日系工場、ゴルフ場などのほか、広場や道路沿いなどに点在する芸術作品（パブリックアート）を視察しました。

今後は、具体的な友好事業を実施するための協議を行っていく予定です。

ダブリン市

アメリカ合衆国、オハイオ州。州都コロンバスから約24㎞北西に位置し、人口約4万3千人、面積約40㎢。周辺に日系企業が立地し、2千人以上の日本人が生活しています。



友好都市締結までの経過

年　月	内　容
2015年3月	ダブリン市長のマイケル・キーナン氏が来町し、大塚町長と会談。
2015年6月	ダブリン市太鼓グループが来町し、町民会館で「天人疾風の会」と合同演奏会を開催。
2015年9月	ダブリン市が友好都市締結の希望を一般財団法人自治体国際化協会に提出。 ダブリン市の議会議員、経済部長2名が来町。 ダブリン市との友好都市締結について、町、町議会、町関係機関の代表による検討会議を開催し、12月の訪米を決定。
2015年12月	益子町から町長、議会議長、観光協会会長、商工会会長、地域間交流協会会長、天人疾風の会代表がダブリン市を訪問し、友好都市を締結。

▲調印式での和太鼓のアトラクション。大塚町長も飛び入り参加

▲個性を伸ばす教育が充実している中学校の授業風景

▲市内にはさまざまなパブリックアートが点在している

▲毎年、PGAメモリアルトーナメントが開催されるミュアフィールドビレッジゴルフクラブ

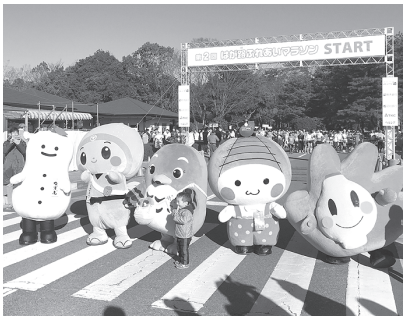
第2回　はが路ふれあいマラソン開催！

２１３３人が冬のはが路を駆け抜ける！

12月20日(日)、芳賀郡内の1市4町(真岡市・益子町・茂木町・市貝町・芳賀町)を舞台に第2回目となるはが路ふれあいマラソンが開催され、２１３３人が冬のはが路を駆け抜けました。

スタート地点で行われた開会式では、1市4町のマスコットキャラクターたちも集合し、全国から集まった参加者を歓迎しました。

▲スタート地点



コースは真岡市の井頭公園をスタートし、益子町・茂木町・市貝町・芳賀町を抜けて井頭公園にゴールする42・195㎞のフルマラソン。沿道には多くの人が応援に駆けつけ、選手に温かい声援を送りました。また、市民ボランティアグループや自治会によるお囃子やよさこいソーラン、山車の設置も行われ、走者を激励しました。

前回に引き続きゲストとして参加した芳賀町出身の赤羽有紀子さんも、選手と共に走ったのち道中でハイタッチをしてランナーを励ましました。

エイドステーション(給水所)では、イチゴやそばなどの特産品がふるまわれ、ランナーたちの疲れを癒しました。

▲エイドステーション

ランナー向け情報サイト「ランネット」の大会レポには、今回も多くの参加者から喜びと感謝の声が投稿されていますので、ぜひご覧ください。

沿道での声援や、大会運営のボランティアに参加していただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。

お問い合わせ
はが路ふれあいマラソン実行委員会
(総合体育館)☎(70)2727

お忘れなく

期間 2月16日(火)～3月15日(火)

平成27年分申告納税相談日程表

●申告納税相談の受付時間は、午前８時30分から11時、午後１時から４時までです。
●午前中に受付されても、受付人数によっては午後になる場合がありますので、ご了承ください。

今年も、年金収入のみの方などを対象に、下記のとおり住民税申告の日を設けますので、どうぞご利用ください。

◆対　象　○年金収入のみの方で、①～③の要件にすべてあてはまる方
①年金から所得税が源泉徴収されていない方
（２箇所以上から受給している方は、すべての年金から源泉徴収されていないこと）
②年金収入の合計が４００万円以下の方
③医療費控除・生命保険料控除・地震保険料控除などの所得控除の手続きをされる方
○非課税所得（障害年金・遺族年金など）のみの方
○収入がなかった方

上記以外の方は、日程表の地区割りの日に申告してください。
（農業所得や不動産所得がある、所得税の還付を受ける、など）

◆日　時　２月８日(月)　午前９時～午前11時…益子地区の方　午後１時～午後３時…田野地区の方
２月９日(火)　午前９時～午前11時…益子地区の方　午後１時～午後３時…七井地区の方
◆場　所　益子町役場２階　大会議室
◆持参するもの　印鑑、源泉徴収票、生命保険料・地震保険料等の控除証明書、医療費控除を受けられる方は医療費の領収書

※所得税の還付を受けるなど、申告の内容によっては再度来庁していただく場合がありますので、ご了承ください。

※フリー：午後３時～４時の受付は、地区割りの日に来庁できない方が対象です。

日時			地区			納税相談の場所
月	日	曜	午前８時30分～11時	午後１時～３時	午後3時～4時	
2	16	火	上山	本郷・松本・大郷戸	フリー	農村環境改善センター ☎(72) 0139
	17	水	長堤	原・本沼		
	18	木	前沢・荒町	小泉本田・小泉山根・梅ヶ内		
	19	金	東田井上・東田井下			
	22	月	芦沼・舟橋	青田・大平	フリー	あぐり館 ☎(72) 9710
	23	火	台町・田中	山王前・山王後		
	24	水	大沢本郷・大沢宿・大沢里・本郷東	本郷西・北原・新福寺		
	25	木	北中・中村・角ノ川・仲之内・風戸	大和田・里東・益子リバティヒル		
	26	金	下町・仲町・後町・駅前	上町・東町・富士山		
	29	月	小宅東・小宅西			
3	1	火	西明寺・一ノ沢	新町・田町	フリー	役場大会議室 ☎(72) 8833 (税務課直通)
	2	水	星ノ宮上（1，2）	星ノ宮下（1，2）		
	3	木	塙上（1，2）	サヤド（サヤド下・北郷谷）		
	4	金	内町・栗崎	塙下（1，2）		
	7	月	下大羽	石並・北益子		
	8	火	城内・サヤド（サヤド上1，2）	生田目北・生田目南		
	9	水	上大羽	栗生・雇用促進団地・星ノ宮団地		
	10	木	地区割りの日に来庁できない方（受付は午後４時まで）			
	11	金	地区割りの日に来庁できない方（この２日間は受付時間を午後６時まで延長）			
	14	月				
	15	火	地区割りの日に来庁できない方（受付は午後４時まで）			

確定申告

◆確定申告が必要となる方◆

収入関係	事業所得がある方 【事業所得】	営業、農業に関する所得 保険の外交員収入 水道検針員など源泉徴収されない収入 など
	給与・年金を２ヵ所以上から もらっている方	年の途中で退職し、年内に再就職したが、年末調整で合算していない場合 年の途中で退職し、年末調整を行っていない場合 給与と年金をもらっている場合 など
	土地・建物を貸している方 【不動産所得】	土地・建物の貸付料、小作料 など
	給与・年金以外に その他の収入がある方	保険の満期返戻金、個人年金、シルバー人材センター配分金 など
	収入がない方	国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険加入世帯 子ども手当受給者等で所得証明が必要になる場合 など
控除関係	医療費がたくさんかかった方 【医療費控除】	平成 27年中に支払った医療費が、10万円を超えたとき ※所得金額が 200万円未満の方は、「所得金額×５％」を超えたとき
	マイホームを建てた方 【住宅借入金等特別控除】	住宅ローンを利用してマイホームの新築や購入、増改築をしたとき、一定要件に当てはまれば住宅借入金等特別控除を受けることができます。
	寄附をした方 【寄附金控除】	国・県・市町村・特定の団体に寄附したとき
	扶養親族に変更があった方 【配偶者・扶養控除】	年末調整の際、扶養控除の申告をしていなかったとき 所得が多く、扶養控除の適用外になったとき 年末調整の後、子どもが生まれた など

◆申告に必要な書類等◆

①**申告書**（税務署から郵送されている方）
②**印　鑑**（新たに口座振替を希望する方は通帳登録のもの）
③**金融機関の口座番号が分かる書類**（本人名義のもの）
④**平成 27年中（１月１日～12月 31日）までの１年間の収入が明らかにできる書類**
　○「源泉徴収票」や「支払証明書」（給与・年金・賃金・報酬など）
　○農業・営業・不動産所得、配当所得などのある方はその所得の内容を明らかにする書類
　　※農業所得がある方は、「農業販売金額等の報告書」の記入をお願いしておりますが、まだ提出されていない方は申告日までに提出してください。
⑤**各種控除額となる領収書・証明書**
　○生命保険（一般の生命保険･個人年金･介護医療保険）、地震保険(地震保険･旧長期損害保険)
　○国民健康保険税、国民年金保険料
　　※国民年金の控除を受ける方は、平成27年１月から12月までに支払った領収書か控除証明書が必要になります。紛失してしまった場合には、控除証明書専用ダイヤル(ナビダイヤル) ☎ ０５７０－０５８－５５５へお問い合わせください。
　○医療費の領収書（保険金などで補てんされた場合は、その補てん金額の分かるもの）
　○障害者手帳、障害者控除対象者認定書など（障害者控除を受ける方）
　○固定資産税の課税明細書（農業・営業・不動産所得を申告する方）
　　※「固定資産税の課税明細書」は納付書に添付されていますが、紛失された方は「土地･家屋公課証明書」を取得（税務課窓口で無料で発行）してください。
　○その他の所得控除や税額控除にかかわる証明書や領収書

◆下記の方は税務署での申告になります◆

・青色申告の方
・譲渡所得（土地、建物、株など）のある方
・消費税の申告の方
・住宅借入金等特別控除の適用１年目の方

問い合わせ先

◆所得税は
　真岡税務署　☎（８２）２１１５
◆住民税は
　益子町税務課　☎（７２）８８３２

日本遺産認定に向けて

益子焼に代表される陶芸文化を含めて町には素晴らしい歴史文化が色濃く残っています。そんな魅力を国内外に発信し、広く益子の文化遺産を認知し来訪してもらうために、町では日本遺産認定に向けた取組みを始めています。

現在はその第一歩として町の歴史文化をどのように保存し活用すべきかを示す基本構想の策定に取組んでいます。有識者が集まり検討する委員会を12月8日に開催したほか、策定には未指定の文化財を含めた歴史文化の基礎情報が必要ですので、昨年11月から「文化財探検隊」を実施するなどして町民の皆さまのご協力を得ながら情報の収集に努めています。

▲策定委員会のようす

今後も専門家のご意見と地域の皆さまのご協力により策定したいと考えています。

▲文化財探検隊のようす

●お問い合わせ
生涯学習課文化係 ☎（72）3101

浄化槽をお使いの皆さまへ

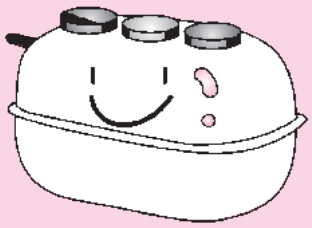
浄化槽が十分な働きをするためには、適切な維持管理が必要です。

※浄化槽の維持管理とは、保守点検、清掃、定期検査の３つのことをいいます。

◆保守点検は処理方式や人槽によって異なりますが、おおむね１年に４回、清掃は年１回の実施が法律によって義務づけられています。

◆毎年１回の定期検査は、普段の保守点検や清掃を定期的に行っていても、受検義務があります。

◆定期検査のお申し込みは保守点検業者もしくは（一社）栃木県浄化槽協会にご相談ください。



●お問い合わせ （一社)栃木県浄化槽協会 ☎ ０２８（６３３）１６５０

益子町入札参加資格審査（追加）申請のご案内

平成２８年度に益子町が発注する建設工事、測量・建設コンタルタント等業務、物品製造・販売・委託業務等に係る入札に参加を希望する事業者の申請の追加受付を行います。

【受付期間】 平成２８年２月１日（月）から平成２８年２月１５日（月）（消印有効）
【提出方法】 持参または郵送（持参の受付は、土日祝日を除く午前９時から午後４時）
【提出書類】 町ＨＰにてご確認ください。提出要領・申請書等がダウンロードできます。
【有効期間】 平成２８年４月１日から平成２９年３月３１日まで

詳しくは町ＨＰをご覧ください。 http://www.town.mashiko.tochigi.jp/
ホーム＞ビジネス産業＞入札・契約情報＞平成２８年度入札参加資格（追加）申請
●申し込み・お問い合わせ 企画課管財係 ☎（７２）８８２９

必ずチェック　最低賃金　使用者も、労働者も。

【地域別最低賃金】特定最低賃金が適用されないすべての労働者に適用されます。

最低賃金の件名	時間額	効力発生日
栃木県最低賃金	７５１円	平成２７年１０月１日

【特定最低賃金】１８歳未満または６５歳以上の労働者は栃木県最低賃金が適用されます。

最低賃金の件名	時間額	効力発生日
塗料製造業	８８８円	平成２７年１２月３１日
はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具製造業	８３５円	
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	８３６円	
自動車・同附属品製造業	８４０円	
計量器・測定器・分析機器・試験機・測量機械器具製造業、医療用機械器具・医療用品製造業、光学機械器具・レンズ製造業、医療用計測器製造業、時計・同部品製造業	８３５円	
各種商品小売業	８００円	

詳しくは、栃木県労働局労働基準部賃金室または最寄りの労働基準監督署へお問い合わせください。

●お問い合わせ　栃木県労働局労働基準部賃金室　☎０２８（６３４）９１０９

税務署からのお知らせ
～所得税の確定申告をされるすべての方へ～

確定申告書への復興特別所得税額の記載漏れにご注意ください！！

平成２５年分から平成４９年分までの各年分については、所得税と併せて復興特別所得税の申告および納付をすることとされています。

復興特別所得税の額は、各年分の基準所得税額（原則として、その年分の所得税額）に２．１％の税率を掛けて計算した金額です。

また、平成２５年１月１日から平成４９年１２月３１日までの間に生ずる所得について、源泉所得税が徴収される場合には、復興特別所得税が併せて徴収されます。

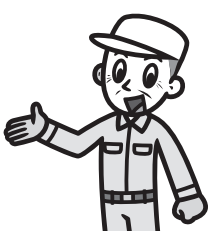
●お問い合わせ　真岡税務署　☎（８２）２１１５

シルバー人材センターに入会しませんか？

益子町シルバー人材センターでは、平成28年度の新規会員を募集しています。「経験・技能を活かして働く機会を得たい」、「何か仕事をしたい」という60歳以上の方の入会をお待ちしております。

下記のとおり入会説明会を開催しますので、
ご希望の方は当センターまでお申し込みください。

- ◆日　　時　３月18日（金）１３：３０～
- ◆場　　所　福祉センター　１階ふれあい広場
- ◆申込期限　３月17日（木）



●お問い合わせ　（公社）益子町シルバー人材センター　☎（７０）１１１３

たまな通信

「ジーワン」関東農政局表彰！

12月10日（木）町内の農業生産法人「株式会社ジーワン」が、国営土地改良事業地区の営農推進功労者として関東農政局から表彰を受けました。

代表の吉岡祐弥さんは、後継者不足や耕作放棄地など、農業が抱えている諸問題を解決したいとの思いから、平成21年に法人を設立し、以後積極的に地域に溶け込む営農に尽力されてきました。今回の表彰は、これまでの活動が認められてのもので、今後ますますの活躍が期待されます。

▲「ジーワン」の吉岡社長（左）と菱沼課長（右）

第8回益子町小中学校・高校陶芸展表彰式

▲受賞者の皆さん

12月5日（土）陶芸メッセ・益子において益子町小中学校・高校陶芸展の表彰式が行われました。小中学生や高校生の益子焼に対する関心を高め、陶芸に親しむ心を育むことを目的として行われている益子町小中学校・高校陶芸展は、今回で8回目を迎え、175点の応募がありました。

表彰式では、その中から昨年11月19日（木）に益子陶芸美術館で行われた審査会で特別賞や優秀賞に選ばれた14点の作品（特別賞については1月号に掲載）の表彰が行われ、子どもたち一人ひとりに賞状が手渡されました。また、それぞれの作品について、益子陶芸美術館長から講評が述べられました。

二十歳のつどい

1月10日（日）町民センターにおいて二十歳のつどいが行われ、199名の新成人が集まりました。会場では、互いの成長した姿に驚きながらも、旧友との再会を喜ぶ新成人たちが見られました。

式典では、中学校時代の恩師から、当時の学園祭や卒業間際に起きた東日本大震災のようすを振り返るとともに、祝福と激励の言葉がかけられました。

新成人代表の言葉では、このつどいをきっかけに成人とは何か改めて考え、両親へ感謝を忘れずこれからも頑張っていきたいと語ってくれました。これからの時代を担う新成人の活躍に期待したいと思います。

▲式典のようす

未来のなでしこ！益子町出身岩下さんが活躍を報告

1月18日（月）、益子町出身で、現在静岡県の藤枝順心高校一年生の岩下胡桃（くるみ）さんが、「第24回全日本高等学校女子サッカー選手権大会」での優勝を報告に益子町役場に訪れました。

岩下さんは、この大会で一年生ながらFWとして活躍し、決勝戦においてもスタメン出場で2アシストという結果を残しました。

地元の友人やお世話になった方々から多くの応援をいただき、「みんなの応援のおかげで優勝できてうれしかった」と話してくれました。また、なでしこジャパンの川澄選手に憧れており、将来はなでしこの選手として活躍したいと抱負を語ってくれました。

▲町長に優勝を報告する岩下さん

目指せ！東京オリンピック！　一流選手が指導するスポーツ教室を開催

野球教室

11月29日(日)　北公園野球場　参加者133名

今年度の野球教室は、篠塚和典さん、川口和久さん、仁村薫さんの元読売巨人軍メンバー3名の方を講師としてお迎えしました。

教室は、川口さんは投手、篠塚さん、仁村さんは野手（打撃や守備・走塁など）に分かれ、基本や技術、練習への取り組みなど、非常に熱心に指導して頂き、子どもたちは一流選手の言葉に真剣に目や耳を傾けていました。最後に川口さんがマウンドに立ち、子どもたちと勝負をするという夢の競演もしていただきました。

剣道教室

12月5日(土)　総合体育館　参加者80名

昨年度に引き続き、今回で連続8回目となる武蔵武道館名誉館長の田原弘徳さん（範士8段）、警視庁機動隊に所属する原田悟さん（教士7段）、同じく内村良一さん（錬士6段）、に今年度も講師としてお迎えして行われました。

教室では、田原先生主導のもと、礼儀の指導や心・技・体を鍛え、武道の心得を学びました。

また、剣道世界選手権大会出場経験のある原田先生と昨年東京で開催されました剣道世界選手権大会団体戦で主将を務め、日本を優勝に導きました内村先生との模範試合を披露し、会場は緊張感にあふれ、子どもたちは目を奪われていました。

柔道教室

12月13日(日)　総合体育館　参加者60名

幼少期から天才とよばれ、シドニー五輪金メダリストであり、全日本男子柔道監督の井上康生さんを昨年度に引き続き、講師にお迎えして行われました。

教室は、井上先生の講義から始まり、今年開催されるリオデジャネイロ五輪や2020年東京五輪、そして、自身の経験を踏まえ、『大きな夢や目標を持つこと』、『苦悩や挫折に逃げずに立ち向かうこと』、など、柔道家として、一人の人間としてこれから成長していく子どもたちに熱く語っていただきました。

その後の実技指導では、得意の内股や大外刈りの実演や技の切り返しなど子どもたち一人ひとりにアドバイスを贈り、精神面や技術的なことを伝えていただきました。

サッカー教室

12月23日(水)　南運動公園　参加者160名

栃木SCの選手やコーチを講師にお迎えしてサッカー教室が開催されました。

教室は、小学生と中学生に分かれ、小学生は、ドリブルやシュート、リフティングなど、主に基礎を中心にボールにふれあい、サッカーの楽しさ実感しました。

中学生は、FW・MF・DF、そしてGKに別れフィジカル面などを学び、その後、ミニゲームをしながらスペースの入り方や防ぎ方、パスを受けるための動きなど、実践的な指導を受けました。

少年スポーツ教室は
totoの助成を受
けて実施しています。

toto
FOR ALL SPORTS OF JAPAN

まなびの広場

ボランティア団体の活動発表会を開催

町内で活動するボランティア団体や自治会などの活動発表会が、12月13日（日）町民センターで開催されました。この発表会は、町の生涯学習振興のための団体である生涯学習推進協議会が学びのきっかけづくりを提供することを目的としています。

ホールで行われた口頭発表では、台町自治会、益子ふれあいサロンと悠楽塾が団体の紹介や活動内容の報告を、写真などを交えて行いました。発表後には来場者との熱心な質疑応答もあり、各団体への関心の高さがうかがえるものでした。最後には、岡良一郎教育長から講評として、それぞれの発表者への敬意と激励の言葉が贈られました。

9団体により開催された実演・体験ブースでは折り紙や抹茶、愛の鈴づくり、防災ずきん作り、民話語り、マイはし作り、バルーンアートなどさまざまな体験を来場者が楽しみました。体験をした方からは、「体験をしながら活動内容を学べ、交流もできてよかった」と好評でした。一方、毎年主催者からの依頼で益子町女性団体連絡協議会が提供する「すいとん入り豚汁」のほか、今年はカレーライスやシフォンケーキも振る舞われ、各会場では長い列ができていました。

このほか、ポスター発表では21団体から計28枚の各団体の活動を紹介したポスターが展示されました。口頭発表を聴けなかった方も内容が分かるとじっくり見学していました。

▲マイはし作り

▲ポスター発表

本大会は、数年ごとに趣向を変え開催してきましたが、このような団体による発表形式をとるのは約10年ぶりです。参加団体間の交流も持て、情報交換をして刺激を受けているようすでした。

見てある記 「ふれあいサロン」

高齢者の方が家族以外の人とふれあうことで認知症の予防など健康増進につなげるという目的で、だれでも参加できるサロン「ましこふれあいサロン」が益子町新町に開設され、11月10日で一周年を迎えました。週3回開設し、火曜日はふれあいサロン、水曜日はカラオケ教室、木曜日はマージャン教室をそれぞれ楽しんでいます。会員は月に300円を支払い、現在50名の方が会員として登録されているそうです。

この日はふれあいサロンでボランティアさんの心のこもった、里芋の柚子味噌和え、レタスなどの野菜サラダ、赤大根の酢漬けなどの料理を談笑しながら味わっていました。18名のボランティアさんの協力があるそうです。開設に伴う多大な協力者であり地主で家主の荒井三郎さんは「ふだん顔見知りがいると気軽に参加できるので歩いて行けるくらいの範囲につくるといいね」とアドバイスしてくれました。また、施設長の松ノ木直次さんは高齢者の集まるところなので、火は使わないことや、バリアフリー化など、すべてのことに細心の注意を払っていると話していました。このふれあいサロンのような施設は学びたい、学んだことを伝えられるなど会員、ボランティア双方の生涯学習の場でもあると思い紹介しました。

このページは、生涯学習支援ボランティア「学望会」の編集協力により作成しています。情報をお寄せください。

中央公民館 ☎(72)3101

交番だより

冬季のスリップ事故防止！

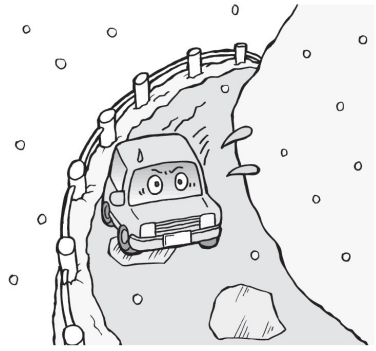
◆事前に滑りやすい場所を知っておきましょう

・橋の上
・山間部など、標高の高い場所
・路面の日陰部分
・トンネルの出入口
・交通量の多い交差点

これらの場所は、滑りやすくなっている場合が多いため、通行する際には十分に注意しましょう。

◆スリップ事故を防止するために

① 急発進はスリップ事故のもとです。アクセルをゆっくり踏み込み、滑らかにスタートしましょう。



② 急ブレーキはやめましょう。エンジンブレーキを小刻みに踏みましょう。

③ カーブを曲がる際、減速はカーブの入口手前から行い、カーブ走行中はなるべくブレーキを踏まないようにしましょう。

④ 右左折時の合図は早めに出し、しっかり減速してから曲がりましょう。

◆時間にゆとりを持ちましょう

時間にゆとりを持ち、他車や歩行者を思いやる運転をしましょう。

スキー場における事故防止

県内には多くのスキー場があり、シーズン中は多くの人が訪れ、ウインタースポーツを楽しんでいます。

しかし、楽しいレジャーも不注意・技術不足による転倒や、遭難する事故が毎年多く発生しています。

スキー場で安全で楽しい滑走をするために、次のことを守ってください。

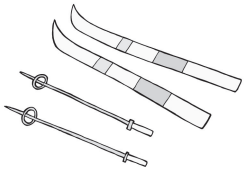
① 滑る前には、準備運動を行い、服装や用具の点検を行いましょう。

② 体調の悪いときは、無理をしないようにしましょう。

③ 滑るときは、前後左右をよく確かめ、自分の技術を過信することなく、自分に合ったコースを選びましょう。

④ スキー場での滑走は、指定されたコース内で行い、立入禁止区域には絶対に入らないようにしましょう。

⑤ 駐車場での車上荒らし事件が多発しています。車から離れる時は、車内に貴重品を置かないようにしましょう。



交通情報

交通事故発生状況

（12月31日現在）

年別／区分	平成27年		平成26年		増　減	
	12月	累計	12月	累計	12月	累計
件数	3	18	1	27	2	-9
死者	0	0	0	0	0	0
傷者	4	20	1	35	3	-15

◆交通事故巡回相談

期　日　２月10日(水)
時　間　午前10時～午後３時
場　所　真岡市総合福祉保健センター

※相談を希望される方は、相談日の前日までに、**益子町総務課（☎72-8826）**までご連絡ください。
なお、**県民プラザ室交通事故相談所（県庁内☎028-623-2188）**では、土曜・日曜日および休日を除いた毎日相談に応じています。

《無防備な　心に火災が　かくれんぼ》

春季全国火災予防運動

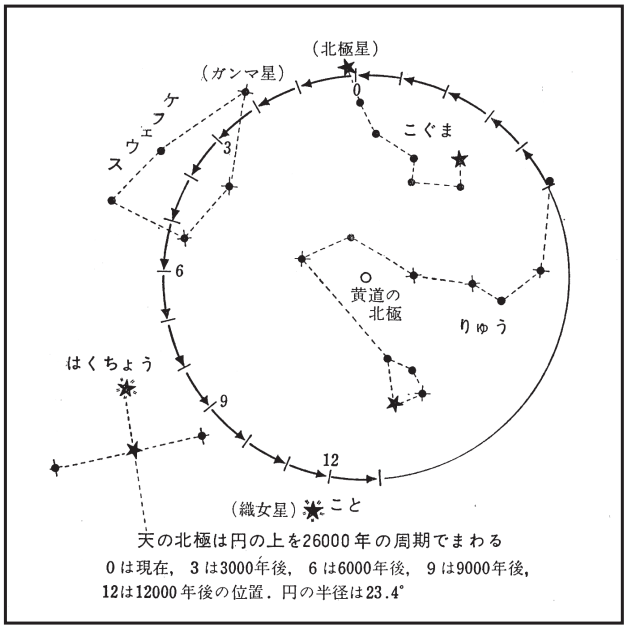
３月１日(火)～７日(月)

この時季は空気が乾燥し、火災の起こりやすい季節です。住宅火災による死傷者をなくすため住宅用火災警報器を設置し、火の取り扱いには十分注意しましょう。強風時には、屋外でのたき火は絶対にやめましょう。

また、消火器、住宅用火災警報器の悪質訪問販売および点検業者に十分ご注意ください。

●お問い合わせ　芳賀地区広域行政事務組合消防本部
真岡消防署　益子分署　☎72－３６５１

『北極星（こぐま座）』



北の方角の目印として昔から親しまれてきた星（北極星）は、こぐま座に含まれています。

北極星は、地球の歳差運動により入れ替わるため、約1万2千年後には、こと座のベガが北極星となります。このころには、日本本土でも南十字星を見ることができるようになるほか、さそり座の一等星アンタレスが冬の空の真上に見えたり、現在見えているおおいぬ座のシリウスは姿を見せなくなったりと、現在とは星の見え方が大きく変わってきます。

★特別観望会のお知らせ★

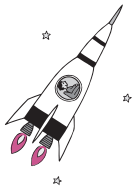
★冬の星座教室
特別観望会3
2月13日　午後7時～

★冬の星座教室
特別観望会4
2月27日　午後7時～

電話で開催日の前日までにお申し込みください。

◆施設利用料　大　人　400円
　小中学生　200円

●お問い合わせおよびお申し込み
益子町天体観測施設
スペース250
☎(70)3305



消費生活アドバイス 156

電気ストーブを使用中の火災に注意！

事例
就寝中に寝返りを打った際、足元付近に置いていた衣類が電気ストーブに接触し、出火した。初期消火を試みたが消火できず、逃げ遅れて死亡した。

冬の季節は、ストーブ等の暖房器具による火災に注意が必要です。

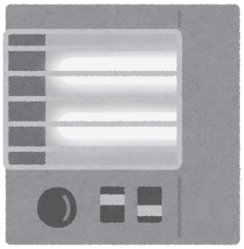
近年、ストーブが出火原因の住宅火災の中でも、電気ストーブ類を出火原因とする住宅火災が多発しています。

★ひとこと助言★

●電気ストーブ類は炎が出ていないため、安全に見えますが、熱があるので、火災の危険があります。

●ストーブの近くに布団・衣類や雑誌などがあると、接触して出火する危険があります。ストーブの周囲には物を置かないことが大切です。

●寝るときや、その場を離れるときは、必ずスイッチを切るようにしましょう。使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておくことも予防につながります。



※「電気ストーブ類」とは、電気ストーブ、カーボンヒータ、ハロゲンヒータ、温風機を含みます。

●お問い合わせ
芳賀地区消費生活センター
☎(81)3881
FAX(81)3025

健康センターだより

はじめよう！＋10の運動習慣

プラステン

元気にからだを動かすことで、生活習慣病やロコモティブシンドローム（ロコモ）、うつ病や認知症などさまざまなリスクを下げることができます。

日常生活の中で、今より10分多くからだを動かすことを意識して、運動習慣を身につけましょう。

まずは…どんな場面でからだを動かせるのか「気づき」、できることから「はじめ」、「達成する」喜びを知り、家族や仲間と「つながって」、楽しみながら続けていくことが大切です。

★ポイント★

①気づく！

「いつ？」「どこで？」からだを動かすのか？あなたの一日の生活を振り返ってみましょう。

②はじめる！

まずは今より10分多く、からだを動かすことからはじめましょう。

③達成する！

目標は1日合計60分、元気にからだを動かすこと。（65歳以上の方は1日合計40分）

④つながる！

一人でも多くの家族や仲間と一緒に、楽しみながらプラス・テンを続けましょう。

たった10分、されど10分！

日ごろ、あまりからだを動かさない生活をしていると、はじめは10分でさえ面倒と思うかもしれませんが、意識してしっかりとからだを動かしていると、元気になり、やる気が出てきます。最初は無理せず、毎日の生活の中でできることから始めて、少しずつからだを動かす機会を、増やしていきましょう。10分の積み重ねが、体力の維持・向上、健康増進に確実につながります。筋力トレーニングやスポーツなどが含まれると、なお効果的です！

1日に行いたい運動目標値は、年齢別で違ってきます。

★18～64歳の方

目標：元気にからだを動かして1日合計60分

★65歳以上の方

目標：じっとしていないで1日合計40分

まずは、日常生活の中で、どんなときにからだを動かす場面があるかを考えてみましょう。年齢やライフスタイルによって異なりますが、仕事をしているとき、家事をしているときなどにも、からだを動かすチャンスはたくさんあります。

◆例えば…

＊自転車通勤に変えてみる

＊エレベーターやエスカレーターを使用せずに階段を使う

＊子どもや孫の送り迎えをするなどもその一つです。一日の生活を振り返り、あなたに合った機会を見つけて、まずは気軽にできることから、積極的にからだを動かしましょう。

●お問い合わせ

保健センター

☎(70)1121

益子の歴史をたずねて

芳賀青年の家所長（史学博士）松本一夫

第10回 益子の寺子屋

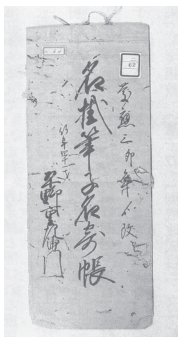
寺子屋とは手習所ともいい、江戸時代に読み・書き・算盤（そろばん）を教えた庶民のための教育機関でした。江戸時代の後半に増え始め、江戸末期における全国の寺子屋の数は、3万とも5万とも言われています。

おおよそ5～8歳で入学し、修学期間は4～5年というのが一般的でした。休日は今よりずっと少なくて年に50日ほど、教科書（手習本）には統一したものはなく、「庭訓（ていきん）往来」や「百姓往来」、「商売往来」など、実にさまざまなものが使われていました。定期テストもあったようです。

テレビの時代劇では、よく落ちぶれた武士が寺子屋の師匠として描かれますが、実際下野で最も多かったのは名主・村役人などの上層農民でした（393人中118人、約3割）。

益子では黒羽藩下之庄山方奉行をつとめた平野家（前町長平野良和氏のご先祖）が開いた塾が知られており、遅くとも19世紀初めにはその存在が確認できます。

慶応3年（1867）の「名掛筆子寄帳」という名簿が残っており、それには全部で150人もの寺子が記されています。住所がわかる127名をみてみると、益子村内の子ども97名と最も多いのは当然ですが、少数ながら周辺の村から通う者もおり、1名ですが遠く黒羽町の子どももいました。



▲名掛筆子寄帳表紙

文化10年（1813）ごろの当主平野良恭は、和歌を詠む文化人でもあり、当時の益子を代表する知識人として、子どもたちの教育にもあたっていたのでしょう。

注目していただきたいのは、こうした教育機関が誰に強制されたわけでもなく、自主的に全国各地で運営されていた点です。商業の発達や農業技術の高度化がめざましかった江戸後期、庶民にとっても読み・書き・算盤は、必要不可欠なものとなっていたのです。

●お問い合わせ

中央公民館

☎(72)3101

新着図書の紹介

〈一般書〉

- 「わが心のジェニファー」 浅田次郎　著
- 「フランドルの四季暦」 マリ・ゲヴェルス　著
- 「カイコの紡ぐ嘘(上・下)」 バート・ガルブレイス　著
- 「一日がしあわせになる朝ごはん」 小田真規子　著
- 「1㎡からはじめる自然菜園」 竹内孝功　著

〈児童書〉

- 「ばななちゃん」 ひろかわさえこ 作・絵
- 「じごくめぐり」 グループ・コロンブス　著
- 「おねえちゃんにあった夜」 シェフ・アールツ　作
- 「〈紙芝居〉二度と」 童心社
- 「六兆年と一夜物語」 西本　紘奈　作

中央公民館図書室

ー夜間もご利用できますー

図書室はボランティアグループ「図書館友の会」の方々の協力により、火～金曜日は、夜8:00まで開いています。ぜひ、ご利用ください。

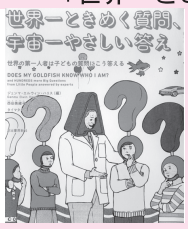
読んでみませんか…

「ピッピ、お買い物にいく」

「ながくつしたのピッピ」でゆうめいなせかいいちつよいおんなのこピッピロッタ・タベルシナジナ・カーテンアケタ・ヤマノハッカ・エフライムノムスメ・ナガクツシタ（つうしょう：ピッピ）。あるひピッピは、トミーとアニカをつれてまちへおかいものにいくことにしました。おかしやさん、おもちゃやさん、くすりやさんとかいものをしますが…？

アストリッド・リンドグレーン　作
イングリッド・ニイマン　絵
徳間書店

「世界一ときめく質問、宇宙一やさしい答え」



子どもたちの素朴な問に各分野の第一人者たちが答えていく。「宇宙には行き止まりがある？」「花はどうしていいにおいなの？」「なぜ虹は曲がっているの？」「どうしてネコは「ミャオ」と鳴くの？」「どうして右と左があるの？」など。世界の第一人者は子どもの質問にこのように答えます。

ジェンマ・エルウィン・ハリス　編
河出書房新社

ましこ文芸

俳句

枯蘆の根元より川波の音　（栗崎）　鈴木　稔
節分会心の鬼を追い出さん　（栗崎）　日渡　守
南天の赤き実なりて三箇日　（内町）　山本　詔
百八の頬悩捨てて初詣　（北中）　大木　栄
早春の陽ざしの中に雪割草　（新福寺）　川田　正子
松明の髪に鋏の軽き音　（上大羽）　関澤満喜枝
餅花の枝の撓りや露店商　（上大羽）　磯部のりこ
寒椿媼指差す飛行雲　（新町）　谷田部　茂
音引きて飛行機消ゆる冬の青　（上大羽）　若林　郁代

川柳

徘徊と言われぬ為に犬を連れ　（サヤド）　山口　秀雄
舌足らず火種が残り燃え上がる　（台町）　田野　信次
出初式空に放水虹映す　（新町）　塚田　静子
よく笑う家に居据わる福の神　（大沢）　鈴木美代子
新しいうちは洗車に念を入れ　（大和田）　細野　栄子
手の平をかざしかざして長話　（台町）　野崎　信子
ふる里もコンビニがある二十四時　（上町）　大岡ミネ子
忘れると言う幸せもあって老い　（大和田）　桜井　耕人
唄の友陽気明るいボケ防止　（下町）　大塚　優子
丹精の田畑夕陽がよく映える　（台町）　桜井　子風

短歌

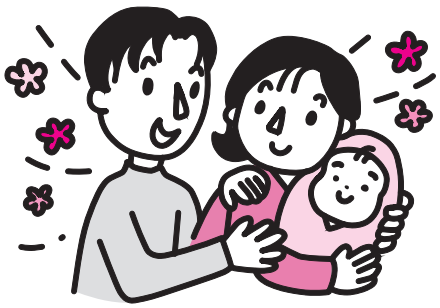
九十のわれに差しくる初ひかりつつしみおもふわがいのちかも　（仲町）　押久保節子
第四コーナー廻りてゴールは鼻の先窶れし老馬の足掻きぞあはれ　（大沢）　浦壁　良之
心地よく孫の歌声聞こえくる炬燵にわれは少しまどろむ　（大沢）　磯　桂子
いつもなら来鳴く小鳥もこの朝は姿を見せず雪の庭静か　（城内）　日渡　茂一
風さむき霜夜の月に娘の無事を祈る庭さき梅香りをり　（田町）　豊田　君恵
今日用もない今日行くあてもないわれに好みのマフラー懸命に編む　（生田目）　小宅　光子
横須賀の波音聞きつつ土手に咲く水仙の花にほほ寄せてみる　（内町）　松下千津子
七時二十分高館山頂明るみて初日のぼり来両手合はせぬ　（内町）　大塚八重子
アメリカに住居構へる妹は成田空港へ笑顔でむかふ　（新町）　小森　ミツ
元旦に庭の紅梅ほころびて年始の客も笑みて佇む　（塙）　高島　孝子

●川柳・短歌の掲載を希望される方へ
掲載を希望する前の月の10日前までに作品をお送りください。なお、掲載枠の都合上、載せられない場合もありますのでご了承ください。

うぶごえ

12月届出分（敬称略）

自治会名	名前	保護者名
松本	鈴木翔大（しょうた）	聡久美
北原	粂川愛実（まなみ）	通治志津子
前沢	仲野優太（ゆうた）	法男綾子
小宅西	福田日菜（ひな）	辰也円
下大羽	西嶋冬彩（とあ）	拓也美由紀



訃報

12月届出分（敬称略）

自治会名	亡くなられた方	年齢	世帯主
新町駅前	小森亮五（ミツ）	85	一雄
大平	床井アサ	95	昭夫
塙上2	横山時男	84	正美
上山	野澤かね	91	仁志
台町	加藤文子	76	本人
中村	萩原キミ子	89	宏
石並	舘誠一	66	良子
大郷戸	上野一行	64	本人
新町下	大堀秀一	84	美智子
里東	岩崎ハマ子	93	本人
サヤ上2	上野千秋	51	一司
栗生	北村ミツキ	91	本人
栗崎	田原清	73	ツル子
小宅東	床井朝四郎	87	一雄

益子町ふるさとづくり基金

12月の寄附の累計は次のとおりです。　（12月31日現在）

931件　16,384,000円

◆平成27年度累計
1,908件　36,651,401円

もっともっと素敵な町に……
皆さまからの寄附をお待ちしております。

12月の気象観測結果

		平年	27年12月
気温（℃）	最高	16.7	20.0
	最低	−6.8	−6.0
	平均	3.8	6.2
降水量（mm）		62.9	42.5

2・3月の資源物・不燃ゴミ収集日程表

地区名		○紙類 ○カン ペットボトル	○不燃ゴミ ○ビン類 ○衣類・布類
＊田野地区全域 ＊益子地区 生田目、石並、内町、西明寺	2月	1、15	5
	3月	1、14	8
＊益子地区 一ノ沢、城内、新町、田町 塙、星ノ宮	2月	3、18	9
	3月	4、17	9
＊益子地区 栗崎、サヤド、北郷谷、北益子 栗生、上大羽、下大羽 ＊七井地区全域	2月	8、19	10
	3月	7、22	10

◆次回休日受付（家庭ごみ全種類）3月19日（土）
※芳賀地区エコステーションでの受け付けになります。　9：00～12：00

益子町は生ごみ堆肥化のまちです！

環境伝言板

生ごみ分別収集を本格スタートして２年を経過しようとしています。そこで、昨年11月の町民まつりで“生ごみアンケート”を実施したところ、２６５名の方が協力してくださいました。結果は……

◆自家処理により堆肥化している…５３％
◆専用袋で出して堆肥化している…４０％

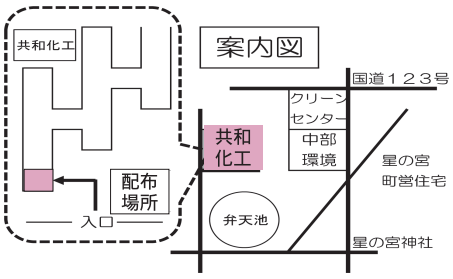
生ごみの分別資源化は、随分皆さんに浸透しているようです。

町民まつり「生ごみコーナー」▶

生ごみ堆肥を無償配布しています！

皆さまの取り組みによりできた生ごみ堆肥は、無償で配布していますので、ぜひ御利用ください！

配布場所：共和化工㈱益子事業所（塙3680-7）
配布時間：10：00～15：00（平日のみ）
配布方法：レジ袋や肥料袋等を持参いただき、必要なだけ袋に入れてお持ち帰りください。スコップは用意してあります。
※大量に必要な場合（数百kg～数ｔ）は、事前に共和化工㈱益子事業所（電話：70-1380）までご連絡ください。



●お問い合わせ
環境課生活環境係　☎72−8101
共和化工㈱益子事業所　☎70−1380

はーいッ私です！

～20歳のつどい編～

髙松　志帆さん（谷町）

坂本　葵さん（星ノ宮上2）

稲見　茉紀さん（富士山）

池田　彩子さん（荒町）

ましこ四季の花

ましこフラワーボランティア募集中！

ましこ花のまちづくり実行委員会では、花苗の栽培や植え付け、管理などを行っていただく「ましこフラワーボランティア」の会員を募集しています。

昨年は、マリーゴールド、パンジーの植栽作業やとちぎ花フェスタへの研修を行いました。

花に興味のある方、花の知識を学びたい方、花好きのみんなと一緒に花で包まれた元気のある益子町をつくっていきましょう。

●活動内容

花苗や種の植え付け、園芸教室や研修会など

●応募条件

園芸作業に興味のある方

※小学生以下の方は、保護者と登録してください。

○申込方法

ましこ花のまちづくり実行委員会事務局（中央公民館）まで、お電話にてお申し込みください。

ましこ花のまちづくり実行委員会事務局
（中央公民館内）　TEL　0285（72）3101
http://www.town.mashiko.tochigi.jp/　ましこ花のまちづくり　で検索

発行所　栃木県芳賀郡益子町大字益子2030番地
発行人　益子町長　大塚朋之
編集　総務課秘書広報係（電話 0285-72-8825）
ホームページ　http://www.town.mashiko.tochigi.jp/
印刷　有限会社あらい印刷

MYスナップ

今月のマイ・スナップは、の髙松滋さん・裕子さんのお子さん庵里（いおり）くん（９歳）、実柚（みゆ）ちゃん（６歳）、柚衣（ゆい）ちゃん（６カ月）です。

柚衣ちゃんがうまれてから、お兄ちゃんもお姉ちゃんも交代で抱っこしたり、とてもよく面倒をみてかわいがっています♪